

すべての子どもたちの体力が向上を目指して

人間がよりよく生きていくために、心身の健康を保つことはとても大切なことです。しかし、現在、生活様式の変化などから、以前に比べて子どもたちの体力は低下傾向にあると言われています。そこで、学校では運動の日常化を図り、生涯にわたってよりよく生きていく基盤となる子どもたちの体力向上を目指した取り組みを行っています。また、小・中学校が互いに連携し、小学校でしっかりと身に付けた体力を中学校でも伸ばしていけるよう取り組んでいます。

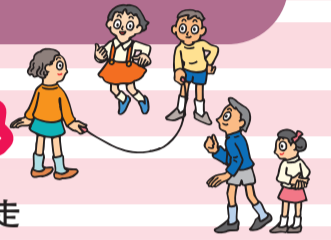
教育委員会における取り組み

- 小学生による長なわグランプリ大会
- 一流のスポーツ選手の指導による「杉並区立中学校合同部活動スペシャル」
- 親子で触れ合い、運動の楽しさを味わわせる体力づくり教室（跳び箱・マット運動、親子ラグビー等）



学校における取り組み

- 年間を通して継続的に行う3分間持久走
- 記録に向かって日常的に練習を積み重ねる長なわ八の字跳び
- 小学生と中学生が共に活動する小中合同部活動



高四げんきルーム (高井戸第四小学校)

日頃から、子どもたちが積極的に体を動かす機会をつくることで、運動への興味をひき、楽しさを伝えます。



多様な動きを作る4つのコーナーがあります。

中学校合同部活動 スペシャルの様子

今年度は、野球・サッカー・バレーボール・バスケットボールを行いました。2日間に渡り、545人の生徒が参加しました。



イベント

すぎなみ からだりよく 体力 DAY!

これまで個別に行っていた長なわ跳び大会、体力づくり教室、学校給食展示会、健康教育に関する講演会を、今年度は「体力・食・健康」の総合イベントとして開催します。ぜひ、お越しください!

日時

10月29日(土)
9時~16時30分

会場

杉並第十小学校

※雨天時、運動部門の会場は、和田小学校、高南中学校、高円寺体育館を予定

運動

9:00~16:30

体力づくり教室

●サッカー (9:00~10:30)
東京ヴェルディ



●陸上 (11:00~12:30)
渡邊 高博氏
(元400mオリンピック代表)



●長なわグランプリ
(13:00~16:30)
(全小学校代表チーム参加予定)



食育

10:00~16:00

●展示 (10:00~16:00)

学校給食に関する研究物や、学校給食の実物などを展示

※右記の講演会中は展示物に関するご説明はできませんのであらかじめご了承ください

●試食 (12:30~13:30)

まごわやさしい弁当の試食

- ・試食場所: 体育館
- ・10時から所定の場所にて試食券を配布します
- ・無くなり次第終了

●料理教室 (14:00~15:30)

- ・場所: 家庭科室
- ・内容: 手づくり水ギョーザ



生活習慣

10:45~12:15

杉並区学校保健会講演会

からだりよく「親子で体力向上」

—今頑張れ、今頑張らずに、いつ頑張る!—



黒木 知宏氏
(元千葉ロッテマリーンズ)

問合せ:①体力向上・イベント(運動)について…教育人事企画課指導主事 ②イベント(食育・生活習慣)について…学務課保健給食係

教育委員会の動き (平成23年6月~8月)

【教育委員会開催状況】 定例会 5回 ・臨時会 1回 ・議案 11件 ・報告事項 14件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

◎杉並区教育委員会教育長の任命について

◎杉並区立中学校において使用する教科用図書(平成24~27年度使用)の採択について

◎杉並区立特別支援学校並びに杉並区立小学校及び中学校の特別支援学級において使用する教科用図書(平成24年度使用)の採択について

○杉並区教育ビジョン策定委員会について

○平成23年度小・中学校への学校司書の配置について

○(暫定)久我山運動場の開設について

○平成23年度中学校夏季パワーアップ教室の実施について



杉並区立図書館では、たくさんのボランティアが活動し、大きな役割を担っていることをご存知ですか？

お子さんが小さかった頃、図書館の「おはなし会」に参加されたことはありませんか？そのとき絵本を読んでくれたのは、読み聞かせボランティアであったかもしれません。

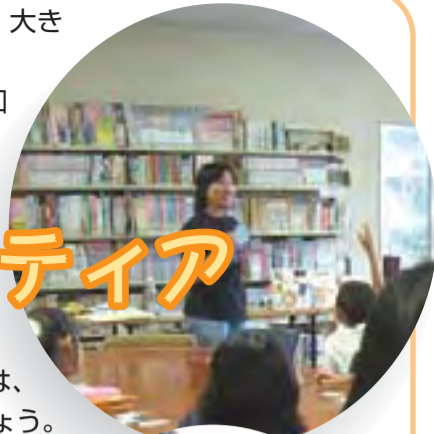
ご存知ですか、図書館ボランティア

また、夏休みに中央図書館の調べ学習室を訪れたお子さんは、見守りボランティアの優しいまなざしに触れていることでしょうか。

そのほかにも、乳幼児向けの取り組みであるブックスタートや児童向けの工作会などの行事、馬橋ふれあい図書室の運営、障害者サービスの朗読ボランティアなど、色々な場面でボランティアが活躍しています。活動しているボランティアの立場は、個人やグループなどさまざまですが、皆さん、図書館や本に関心が高く、自分にできる分野で力を貸してくださっています。

今年度は、すぎなみ地域大学で図書館ボランティア講座を開催し、多くの受講者の方との新たなつながりが生まれました。

これからも充実した図書館活動を進めていくために、ボランティアの力は図書館にとって、より大きな存在となっていくでしょう。



10月27日から11月9日は、読書週間です。

読書の楽しみや本に親しんでいただくため、講演会や本の展示などさまざまな催しを行いますので、ぜひ、図書館へおでかけください。

第8回 すぎなみ本の帯アイデア賞の作品を募集します

「お気に入りの1冊に帯をかけて、家族や友だちにすすめてみよう」という図書館からの呼びかけで始まった『すぎなみ本の帯アイデア賞』。

8回目となる今年も作品を大募集します。

募集
要領

募集期間 10月22日(土) ~ 11月5日(土)
応募資格 区内在住・在学・在勤の小学生から18歳までの方

募集作品

- ・その本が読みたくなるような帯広告を制作し、本にかけて提出してください。
- ・用紙の種類・字体・字数は自由です。写真や絵などを入れてもかまいません。
- ・1人1点で未発表のものに限ります。作品は後日お返しします。

申し込み 作品に応募用紙を添えて杉並区立中央図書館へお持ち下さい。郵送も可。

※応募用紙は杉並区立の各図書館にあります。 ※図書館ホームページからも応募用紙のダウンロードができます。

審査委員 泉麻人(コラムニスト) シゲタサヤカ(絵本作家) 広瀬道子(児童書編集者) 松塚しのぶ(コピーライター)

第7回大賞受賞
白川 晃大(中2)
『ホームレス中学生』



問合せ 中央図書館 〒167-0051 杉並区荻窪3-40-23 ☎3391-5754



中学校補習授業

「夏季パワーアップ教室」の実施

パワーアップ教室参加人数

国語	基礎	応用
1年	456	41
2年	319	86
3年	290	79
数学	基礎	応用
1年	552	75
2年	379	118
3年	353	121
英語	基礎	応用
1年	504	65
2年	388	119
3年	339	89

※他に社会・理科等も実施しました。
※1人の生徒が複数の科目に参加しています。

区立中学校23校において、夏季休業期間中に、補習授業「夏季パワーアップ教室」を実施しました。

夏季休業期間中の補習授業は、これまで一部の中学校において行われてきましたが、今年度から教育委員会の支援により、区内の全中学校での実施へと拡充したものです。(参加費無料)

また、昨年度区内3会場で実施した「合同学習会」の成果を活かし、実施形態・実施内容等の充実を図りました。

実施内容は学校により異なりますが、国語・数学・英語の3教科を中心に、基礎コースと応用コースを設置しました。他に社会・理科等を実施した学校もあります。(参加生徒数は別表のとおりです)

授業は主に学校の教員が行いましたが、学校の計画に基づき、授業を行う民間人講師30名と、授業の補助にあたる地域・学生ボランティア112名の方に、ご助力をいただきました。

これらの取り組みにより、日頃の授業でわからない点の理解や、日頃の授業より更に発展した内容の学習を行うことができました。

杉並区では、このような各学校における、より質の高い教育の推進を支援していきます。

問合せ: 済美教育センター ☎3311-0021



郷土博物館特別展「将軍家の鷹場と杉並」

【展示】鷹場は、将軍家や御三家などが鷹狩り(鷹を使った狩猟)を行うための場所で、江戸時代の杉並区域は将軍家・田安家・一橋家の鷹場でした。当時の支配関係、村の生活、自然環境などについて古文書・絵図・錦絵などを展示するほか、現代に継承されている鷹狩りについても紹介します。講演会や鷹匠による放鷹実演などの関連行事も予定しています。詳しくは広報すぎなみや郷土博物館HPをご覧ください。

会 期: 平成23年10月8日(土) ~ 11月23日(水・祝)

開館時間: 午前9時~午後5時 休館日: 毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日が休館日)

観 覧 料: 100円(中学生以下は無料)

問 合 せ: 郷土博物館 大宮1-20-8 ☎3317-0841

中学生レスキュー隊 今年も始動しました。



中学生レスキュー隊は、中学生の防災意識や社会貢献意識を高める目的で、部活動や生徒会活動の一環として中学生が活動する組織です。この活動は、平成17年度から開始され、平成22年度中学校全校で組織されました。今年度の発足式は7月2日に阿佐ヶ谷中学校体育館で行われ、代表生徒の決意表明の後、杉並・荻窪両消防署の協力でAEDの操作等救命救急や、D級ポンプ、けが人の搬送などの訓練をしました。

前年度まで実施してきた宿泊訓練は、予定地が東日本大震災の被災者の避難所に使用されていることもあり中止し、それに代えて、8月1日には、相模湖への日帰りキャンプを実施しました。7月16日の事前説明会では未曾有の災害を経験したことで、中学生として日常の生活を振り返り、今の自分たちには何が出来るかを考え、発表しました。参加した隊員からは、「募金活動をしたい」、「被災地の中学生に手紙を書きたい」、「日頃の生活の中で節電に心がけたい」など様々な意見がでました。

これからも活動を通じて、他校の生徒とも積極的に交流し、社会貢献や防災意識を高め、主体的な活動ができるよう、地域の震災救援所や専門施設での訓練を予定しています。



問合せ：教育改革推進課学校支援係

東日本大震災復興支援

区立小・中学校では、被災地域への教員派遣や物資の寄付など様々な支援活動を行っています。今回はその一部をご紹介します。

■夏休み 南相馬と高円寺の子どもたちの交流会

8月5日～7日の3日間、杉並第四小学校・高円寺中学校支援本部長の発案で、高円寺地域の方々のご賛同により、43名の南相馬の方々を高円寺にお招きしました。



滞在期間中、西武園ゆうえんちや神宮外苑花火大会などを楽しんでもらいました。また、高円寺の子どもたちと一緒に、ラジオ体操、野球、サッカー、プール、南相馬市佐藤教諭による被災地状況報告、天満敦子さんのヴァイオリン演奏とトーク、玉入れ等のゲーム、老舗盆踊りなどにも参加しました。

日頃放射線が心配で、戸外で遊ぶ機会が少なかった南相馬の子どもたちは、高円寺の子どもたちと一緒に満面の笑みを浮かべ、特に今夏初のプールでは大歓声が上が、「思いっきり体を動かして嬉しかった。」などの感想がありました。

最終日に、高円寺史跡を散歩し、高円寺地域も戦後焼け野原から、復興を成し遂げてきたことを学びました。「南相馬の方々も元気にたくましく復興を遂げて欲しい。」とのメッセージを、次代を担う子どもたちが、興味深く聞き入っている様子が印象的でした。

今回の交流会により、今後も被災者の方々への支援を続けていきたいと、高円寺地域の多くの子もや大人たちが考えたようです。

車座トーク

震災発生から ちょうど半年

地域のつながりに「気付き」、 今からでも「築く」ことのできる絆

話題提供者の話をもとに皆で話し合う車座トーク。今回は、東日本大震災をきっかけに、防災意識や災害時に支えあえる地域コミュニティへの期待が高まっていることから、地域のつながりとは？ 絆とは？ どうすれば築くことができる？ といったことをテーマに開催しました。

話題提供者には、南相馬市出身の横山法子さん、杉並区社会福祉協議会の疋田恵子さん、さんし会代表の小池曙さんの3人を迎え、福島県南相馬市で被災した経験から杉並へ移ってきて取り組んでいること、南相馬での復興支援と日頃の地域福祉活動から考えること、地域防災を意図したおまつりや日常的な交流の実践などお話をいただきました。どれも経験知に裏打ちされた奥深い内容で、グループトークでの参加者の話し合いも熱心なものとなりました。

震災は季節や気候を選ばません。発災時の避難所となる学校の体育館で、30名を超える参加者たちが汗を流しながら、真剣に語りあったことは、時間の経過とともに薄らぐことなく、意識の中に染みわたっていくことでしょう。

問合せ：社会教育センター ☎3317-6621



9月11日(日)、杉並第十小学校体育館で開催した「車座トーク×街トークアフター3.11～縁とまち、いま、KIZUKERU絆」の様子。ちょうど、すぎなみNPO支援センターでも震災をテーマにした「街トーク」を計画していたことから、車座トーク×街トークとして協働開催しました。

郷土博物館分館 企画展 「野鳥の父・中西悟堂と善福寺池～野鳥保護に捧げた生涯～」
【展示】中西悟堂の世田谷烏山時代の詩人としての創作活動や当時の幅広い文化人との交流、そして昭和4年に井荻町（現杉並区善福寺）に移り住んでからの、善福寺池での野鳥などの生態研究活動や「日本野鳥の会」の創設にいたった経緯などを中心に紹介します。また展示関連事業として講演会も行います。 会期：平成23年12月11日(日)まで 開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は、翌日が休館日)
【講演会】「中西悟堂と善福寺池」 講師：西村真一(前「財団法人日本野鳥の会」理事・中西悟堂研究家) 開催日：11月6日(日) 午後1時半～午後3時まで 定員：30名(先着順・午後1時より整理券を配布・参加費無料・詳細は郷土博物館分館までお問合せください)
【場所・問合せ】郷土博物館分館(天沼3-23-1 天沼弁天池公園内) ☎5347-9801

中学生環境サミット開催



9月10日、区役所で「中学生環境サミット」の発表会が行われました。中学生環境サミットは、未来を担う中学生に、全地球的な課題である環境問題を講義や学習を通じて理解してもらい、環境に対して責任を持つ当事者としての自覚と、問題解決に向けた実践行動力を養うことを目的とし、さらにその成果が、各学校における生徒たちの自主的な環境保全活動へと発展していくことを目指しています。

今年度は「限りある資源の有効活用や環境保全、節電・省エネのために自分たちができることを考えよう！」をテーマに、区立中学校12校29名の生徒が参加して環境問題について考えました。

環境問題についてのゲームを交え、わたしたちの生活と、身の回りの環境や地球環境との関わりを学び、自分たちで考えた身近にできる環境への取組みを環境月間での実践や、各班での意見交換を通じて、「自分たちで何ができるのか」「自分たちが訴えていかなければならないことは何か」を考え、当事者としての自覚を持つとともに、多くの人に訴えていくこととしました。

発表会では、中学生環境サミットで学習したこと、みんなで見聞し合ったこと、取り組んできたことを報告し、「中学生環境サミット宣言」として発表して、未来に責任をもって行動していくことを表明しました。

問合せ：環境清掃部環境都市推進課



平成23年度 杉並区中学生環境サミット

中学生環境サミット宣言

私達は、身近にできることから取り組むと共に、分かったことを多くの人に伝えることで行動の輪を広げていきます

- 1人1人が資源を大切に使うことを心がけ、ゴミとしてすぐに出さないようにしよう
- 太陽や風の力を使って、できることから節電・省エネをしよう
- 1年に1人70t以上も水を使っているのに、節水や水の再利用をして、減らしていこう
- みどりと生き物の環境を守り、豊かな自然をつくっていこう

平成23年9月10日
平成23年度杉並区中学生環境サミット

教育委員が行く、見る、聞く。

9月13日、對馬委員が松ノ木中学校で堀之内小学校の児童の体験授業を参観しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校等にも足を運び、教育の今を見聞しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。

緑に囲まれた松ノ木中学校の校庭で、体育の授業を受けていたのは、堀之内小学校の6年生。中学の授業を体験している子どもたちの表情は、最初は緊張気味でしたが、体を動かしていくと段々に楽しそうな顔になっていきました。この日は、体育の他に、国語、数学、英語の授業を体験し、放課後には楽しみにしていた部活にも参加して小中交流の一日を過ごしました。松ノ木中の校内には、昇降口の靴箱に始まり、廊下や教室にも中学生手作りの「6年1組」「6年2組」の表示があり、中学校全体で小学生をあたたかく迎えている様子が伝わってきました。交流給食では、中学生から「部活は何にしたいの？」などと話しかける姿も見られました。この日のデザートはカフェオレゼリー。小学校の給食ではお目にかからないメニューです。小学生にとっては、この日の体験の一つ一つが、中学校を知るためのいい経験になったことでしょう。これからも、小中が連携し、地域の宝として子どもたちを育てていってほしいと願います。

— 對馬委員から —



松ノ木中学校と堀之内小学校（松ノ木小学校も同様）は、この他にも小学校の行事に中学生がボランティアとして手伝うことも行っています。また、保育園や地域の方も出品できる展示会を行うなど、地域ぐるみでの小中が連携した取組みが進められています。

中学生が使う教科用図書が決まりました

区立中学校で平成24年度から27年度まで使用する教科用図書が以下のとおり採択されました。

採択された教科用図書の見本は済美教育センターで閲覧することができます。(月～金曜日＝午前8時30分～午後5時・祝日はのぞく) 問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

平成24～27年度使用 中学校教科用図書

種目	発行者	書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	中学書写
地理	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土
歴史	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
公民	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	教育出版	中学数学
理科	東京書籍	新しい科学
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	日本文教出版	美術
保健体育	東京書籍	新しい保健体育
技術	開隆堂出版	技術・家庭 (技術分野)
家庭	開隆堂出版	技術・家庭 (家庭分野)
英語	開隆堂出版	SUNSHINE ENGLISH COURSE

新教育ビジョンの骨子をお知らせします

杉並の目指す教育を実現するための指針として、教育ビジョンの策定を進めています。9月1日に開催した第4回策定委員会において、骨子が決まりました。

基本目標

今後10年を見据えた杉並の目指す教育

共に学び共に支え共に創る杉並の教育

いいまちはいい学校を育てる ～学校づくりはまちづくり

目指す人間像

- 夢に向かい、志をもって、自らの道を拓く人
- 「かかわり」を大切に、地域・社会・自然と共に生きる人
- 1 自分の持ち味を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動する力
- 2 変化の時代をとらえ、たくましく生きる心と体の力
- 3 豊かな感性をもち、感動を分かち合う力
- 4 他者の存在を認め、多様な関係を結ぶ力
- 5 持続可能な社会を目指し、次代を共に支えていく力

目標達成に向けた取組みの基本的視点

☆ 基盤づくりから質の向上へ ☆

これまでの教育改革の成果を活かし、基盤づくりから質の向上に向けた施策の充実を図る。

- 「学び」と「循環」の重視
誰もが主体的に学び、その成果を地域の力として継承・発展・循環していく。
- 「かかわり」と「つながり」の重視
家庭・地域・学校の、「かかわり」と「つながり」を重視した教育の更なる推進を図る。
- 「連続性」と「きめ細かさ」の重視
生涯を通した「学びの連続性」と個に応じた「きめ細かな支援」を重視する。